

★マスク着用について

兵庫県ではこれまで基本的な感染症対策として、適切なマスクの着用を推奨してきました。令和4年6月に入り、未だ本市を含む県内の感染状況は十分に収束したとは言えないことから、今後も適切なマスクの着用は感染症対策の基本的な予防対策として重要であると考えています。ですが、マスクの着用が長期化する中、マスク着用の考え方も場面においての見直しがあり、季節的にも今後、熱中症などの恐れもあることから、マスクの着用について改めてお知らせします。

◎屋内・屋外でのマスク着用の考え方

身体的距離が確保できる距離の目安は2 m以上となります。

「身体的距離が確保できる距離」＝距離とし、以下の文章を距離と表現します。

《マスク着用が必要ない場合》

夏場においては熱中症予防の観点からも、マスク着用が必要ない場面ではマスクを外すことを推奨します。

【屋外】

- ・距離が確保できた状態で会話をするとき
- ・公園の散歩やランニングなど距離が確保できた状態で会話をほとんど行わないとき
- ・徒歩や自転車での通勤など距離の確保はできないが会話をほとんど行わないとき

【屋内】

- ・図書館での読書や芸術鑑賞など、距離が確保できた状態で会話をほとんど行わないとき
なお、施設の状態により詳細については各施設管理者にお問い合わせください
- ・十分な換気及び距離が保たれ、感染防止対策を講じている状態の会議等で、発言しないとき
- ・それ以外の場面については、マスクの着用を推奨

《マスク着用を推奨する場合》

【屋外】

- ・距離が確保できない場合で会話を行うとき
- ・高齢の方と会うとき
- ・病院に行くとき

【屋内】

- ・距離が確保できているが会話を行うとき
- ・距離が確保できない場合で会話を行うとき
- ・会話をほとんど行わないが、通勤電車や人混みの中など距離が確保できないとき

◎厚生労働省からの案内

新型コロナウイルス感染症対策

屋外・屋内でのマスク着用について

○マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

○屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**

○屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保でき、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



目安
2m
以上

	距離が確保できる	距離が確保できない
【屋外】		
会話をする	<p>マスク必要なし</p> 	<p>マスク着用推奨</p> 
会話をほとんど行わない	<p>マスク必要なし</p>  <p>公園での散歩やランニング、サイクリングなど</p>	<p>マスク必要なし</p>  <p>徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面</p>
【屋内】		
会話をする	<p>マスク着用推奨</p>  <p>十分な換気など適切な対策を講じている場合は例外です。</p>	<p>マスク着用推奨</p> 
会話をほとんど行わない	<p>マスク必要なし</p>  <p>距離を確保して行う図書館での読書、技術鑑賞</p>	<p>マスク着用推奨</p>  <p>通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう</p>

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに関するQ&A





厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナウイルス感染症予防のために
(厚生労働省HP)



◎関連リンク

マスクの着用について【厚生労働省】(外部リンク)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html